



第5次改訂へ込めた思い…

『環境文化都市』の 理念を引き継ぐ

目指す都市像に「環境文化都市」を掲げて進めてきた飯田のまちづくりは、地域の持続性を高めるとともに、広く社会に貢献し新たな価値の創出を続けてきた道のりでもあります。

これまでのあり方では立ち行かない多くの問題に直面している今、これを乗り越えていくためには、先人の歩みを見つめなおし、それを手掛かりに自らの手で勇気をもって、生活様式や経済社会システムを持続可能なものに転換していかなければなりません。

これからの環境への取り組みは、新たな発想と行動力により、「くらし」や「なりわい」、そして「まち」を持続的で、よりよいものに変えていくという能動的な「いとなみ」と言えます。

市民、地域住民、事業者、行政職員である私たちは、これまでの歩みをさらに進め、「結い」と「ムトスの心」、「自治の基盤」を原動力に、外からの知見も積極的に呼び込みながら環境文化都市を再構築していきます。

できることを、少しずつ。
やるべきことは、しっかりと。
未来のために始めましょう。

飯田らしい、 こころ豊かな 新生活スタイル

こんなこと
してませんか
事例集



環境文化都市 飯田



みんなで目指そう、環境プラン6つのゴール

地球環境への配慮が
あたりまえの暮らしとまちづくりの推進

地球環境への負荷を低減し、
持続可能な社会を求めることは
多くの方の共感を得るところまでできています。
一人一人が自分事としてどうとらえるか、
どのような地域をつくっていくか、
私たちの行動が今、
求められています。



誰もが参加、行動できる環境づくりを目指して
21'いいだ環境プランとは

ゴール

1

健康で快適な生活環境を維持しよう

大気、水、土壌などを良好に維持し、健康で快適な生活環境を維持向上させます。住宅や土地の管理不全や鳥獣害による生活環境の悪化を防止します。

ゴール

2

次世代に引き継ぐ美しい田園都市空間をつくろう

緑化の推進と水や緑に親しむことができる潤いと安らぎのある都市環境を創造するとともに、自然環境と一体となった美しい自然景観の保全、地域の歴史的文化的な特性を生かした田園及び都市景観を形成します。

ゴール

3

3Rに取り組み循環型社会を築こう

ごみを作らない(Reduce)、再利用する(Reuse)、原料として再資源化する(Recycle)、3つのRに取り組み、環境負荷の少ない循環型の社会を築きます。

ゴール

4

豊かな自然を守り育もう

自然と人の共生により、生物多様性を維持し、森林、農地、水辺地などを適切に管理することで自然を豊かにします。

ゴール

5

気候変動への対策に取り組もう

生命、財産を将来にわたって守り、持続可能な発展をするため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、二酸化炭素の排出量の削減と気候変動に適応した生活、事業活動への転換に、協働して取り組みます。

ゴール

6

環境問題を知り、学び、実践に移そう

様々な世代、地域において環境に関する知識や情報の普及、啓発を行い、市民、事業者、行政が協働し、一人一人が環境の保全及び創造に主体的に取り組むことができるようにしていきます。

6つのゴールを達成するために、
わたしたちができることは？

コチラ!

「21'いいだ環境プラン」は、飯田市環境基本条例第7条に基づいて策定され、環境文化都市実現に向けた「いいだ未来デザイン2028」(飯田市総合計画)を進める際の補完的な役割を果たすものです。「循環」「共生」「参加」「個性」の4つをプランの基本的な考え方とし、市民、事業者、地域、行政などの協働で持続可能な社会の実

現を目指しています。

2021年(令和3)年4月からの4カ年を対象とする第5次改訂では、行政だけでなく市民、事業者、地域、各種団体などあらゆる皆さんがそれぞれの立場で環境問題への意識を共有し、未来に向けた行動に主体的に移していただきたい願いを込めた計画としました。

場面別 こんなこととして みませんか 事例集



限りある資源を大切に、
誰もが笑顔でいられる
街づくりのために

美しい山なみや四季折々の彩り、澄んだ水、満天の星空。
いつも目にしているものは、私たちが今のままの生活をしていたら、
いつか失ってしまうかもしれません。
それぞれの立場から、日頃の生活や活動をできる範囲で見直し、
新しいライフスタイルに向けた一歩を踏み出してみませんか。

お家で過ごすとき

暮らしの省エネ **しましよ!**

- ☑ 暑いときは涼しい服装、寒いときは暖かい服装で過ごす
- ☑ よしやすだれ、カーテンなどを季節に応じて上手に使う
- ☑ 誰もいない部屋の明かりはこまめに消す
- ☑ WEBサイトやアプリで電気の使い方をチェックする
- ☑ 寒い冬は家族が時間を空けずにお風呂に入り、追い焚きを減らす



ごみの減量

- ☑ いらなくなったものは必要な人にあげたり、リサイクルショップやアプリを活用したりする
- ☑ 「ごみ出しガイドブック」やごみ分別アプリ「さんあ〜る」を見てごみと資源の分別をきちんとする
- ☑ 燃やすごみからできるだけ紙や容器包装プラスチックを資源として分別する
- ☑ ペットボトルとガラスびんはリサイクルステーションへ出す
- ☑ 生ごみは肥料にするなど削減に努め、燃えるごみに出すときはしっかり水気を切る
- ☑ 小中学校などの資源回収活動に協力する
- ☑ ごみ(廃棄物)を野外で燃やさない

ぼくらをちゃんと分別してね!



庭先や家の周りで **しましよ!**

- ☑ 庭に置いてある荷物などが風で飛ばされないように気をつける
- ☑ 庭木の手入れをきちんと行う(道路に伸びた枝、病虫害など)
- ☑ 剪定した枝を焼く時は風の強い日避け、近所の迷惑にならないよう気を配る



- ☑ 家のまわりや側溝のごみ拾い、草取りを心がけ、ポイ捨てされにくい環境をつくる
- ☑ 市民農園やガーデニングで農や緑のある暮らしに親しむ

外出するとき

しましよ!

- ☑ 近所へはできるだけ徒歩や自転車で行く
- ☑ 電車やバスなどを積極的に利用する
- ☑ 車を買うときは、次世代自動車(*)など燃費の良いものを選ぶ
- ☑ 不要なアイドリングをしない、無駄な荷物を車に載せないなど、エコドライブを心掛ける
- ☑ 地域の景観に興味・関心を持つ
- ☑ アウトドアレジャーや里山散策などで身近な自然に親しむ
- ☑ 公園や公共施設などでは「来た時よりも美しく」を意識する



用語解説

* 次世代自動車

普及が進みつつあるハイブリッド車(HEV)やクリーンディーゼル車(CDV)のほかに、プラグインハイブリッドカー(PHEV)、電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)などがあります。買い替えの際は検討してみましょう。

買い物や外食のとき

しましよ!

- ☑ 買い物に行く前に、冷蔵庫や食品庫にあるものを確認する
- ☑ 直売所を利用するなど、なるべく地元のものを買う
- ☑ 必要なものを必要な量だけ買ったり、注文したりする
- ☑ 包装が簡単なものや詰め替えできるものを買う
- ☑ 繰り返し使えるものや長く使えるものを選ぶ
- ☑ 省エネタイプの製品を購入する
- ☑ 修理しやすいものを選び、壊れたら修理する
- ☑ 買ったものの消費期限や保存方法を確認する



用語解説

知っていますか? エシカル消費

エシカル消費とは、自分自身やまわりの人、地域、地球環境にとって良いものを選ぶという「思いやりの消費」のことです。左の例を参考に、できることから始めましょう。

家電製品を使うとき

しましよ!

- ☑ 電源をこまめに切ったり、省エネモードを活用したりする
- ☑ ご飯は炊飯器でいつまでも保温せず、電子レンジなどを活用する
- ☑ 冷蔵庫の中を整理し、物を詰め込み過ぎない
- ☑ エアコンのフィルター掃除など、製品の手入れを忘れない
- ☑ エアコンはサーキュレーターと併用するなどして効果を高める
- ☑ 1日のうちで極端に電気を多く使う時間を作らない



家を建てる時

しましょ!

- ☑家を建てたりリフォームするときには、ZEH(※)などできるだけ省エネ性能の高い家にする
- ☑地元の木材を積極的に利用する
- ☑太陽光発電や蓄電システム、太陽熱温水器を設置する
- ☑地域でつくられた再生可能エネルギーの電気を使う
- ☑木質ペレットや薪のストーブ、ボイラーなどで「火のある暮らし」を楽しむ
- ☑雨水タンクを設置して庭の水やりなどに利用する
- ☑DIYやセルフリフォームに挑戦する
- ☑空き家を所有している場合は、きれいに管理できない場合は空き家バンクなどを活用する



用語解説



※ZEH(ゼッチ)

「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の略。省エネ化や再生可能エネルギーの導入で一次エネルギーの消費量収支ゼロを目指した住宅のこと。

事業者の皆さんは

企業の場合

しましょ!

- ☑SDGsやESG(※)を意識した事業経営を行う
- ☑テレワークやリモート会議などを積極的に導入する
- ☑時間外労働を削減する
- ☑太陽光発電や木質バイオマス暖房を導入する
- ☑太陽光発電の自家消費や蓄電システムなどを使い電気の自家消費率を高める
- ☑エネルギーや資材の地元調達など、環境や社会問題の解決につながる事業を展開する
- ☑事業活動からの騒音を抑える努力をする
- ☑土地開発を行うときは自然環境の保全に取り組む
- ☑感染症に関する情報が提供されたときは速やかに対処する
- ☑自動販売機を置くときは、必ず回収容器を設置する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



用語解説

※SDGs / ESG

SDGsは「持続可能な開発目標」の略。世界が丸となって達成すべきものとして2015年に国連総会で採択された。貧困、労働、経済成長、気候変動など多岐にわたる。

ESGは「環境」「社会」「ガバナンス(統治)」の頭文字で、企業が長期的に成長するために必要な観点として注目されている。

しましょ!

農林業の場合

- ☑地域の環境保全に貢献していることに誇りをもつ
- ☑耕作や管理が困難になった農地は、農地バンクや農地中間管理機構に登録する
- ☑気候変動に関心を持ち、経営リスクを回避するよう努める



コミュニティのなかで

地域の一員として

しましょ!

- ☑身近な外来生物の駆除作業に参加する
- ☑環境学習会や観察会に参加する
- ☑南アルプスユネスコエコパーク、日本ジオパークのイベントに参加する
- ☑地域の美化活動や森林・里山の保全活動に協力する
- ☑ギフチョウやハナノキなどの希少な動植物の保護に協力する
- ☑自然ガイドやゴミ適正処理啓発ボランティアなどの人材養成講座に参加する
- ☑環境の意見交換会に参加し、自分たちが何をできるか考える
- ☑水辺などの美化活動やごみゼロ運動に参加する



用語解説

※地域環境権条例

飯田市独自の条例で、市民が地元の再生可能エネルギーを主体的に活用して持続可能な社会づくりを行うことが目的。

社会全体で

しましょ!

- ☑地域の景観は地域が主体的に守り育てる
- ☑不法投棄を発見したら通報する
- ☑カラスなど鳥獣問題や野良猫問題は、地域全体で対策する
- ☑地域環境権条例(※)を活用し、地域の困り事に取り組む
- ☑地域や公民館は、環境学習会を開催する
- ☑地区環境懇談会を通じて、各地域でできる環境保全や改善行動を話し合い、実践する

みんなで協力すれば、きっと今より笑顔になれる!

6つのゴールに向かって一歩ずつ進んでみませんか

